

令和7年2月10日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム敬愛苑

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和7年1月23日

開催場所…ポートピア松江ビル4F会議室

出席者

事業所	4人	利用者	0人
利用者家族	3人	地域代表者	2人
松江市職員	0人	包括支援センター	2人
知見を有する者	0人	その他(防災センター)	0人

会議次第

1. 挨拶

・常務取締役より挨拶。

世間ではインフルエンザやコロナ等様々な感染症が流行っております。苑でもインフルエンザの感染者が出ております。感染が広がらないよう注意し、健やかに日々過ごして頂けるように支援をしていきたいと思っております。

2. 出席者自己紹介

3. 議事概要

(1) 現在のサービス提供状況の説明

(2) 行事報告・日々の活動報告

行事 11月 バザー

12月 クリスマス&忘年会

避難訓練

研修 (社内) 食事介助、清拭介助について

感染症対策研修

原子力災害初動対応訓練

(社外) リスクマネジメント研修

新型コロナウイルス感染症患者の療養に関する医療機関・社会福祉施設等の意見交換会

精神疾患の薬が日常生活におよぼす影響について

(3) 「今もそして最後の時もずっと自分らしく生きるための終活ノート」講座

(4) その他、意見交換

行事報告・日々の活動報告

(資料を確認していただき、内容を説明。)

敬愛苑 敬愛苑バザー (11/20) …これは初めての行事。これまで苑とゆかりのあった方からの提供品やご家族から寄付していただいた品、また職員の手作り品などでお店を作り、買い物を楽しんでいただく。同時に撮影スポットを作り

記念写真を撮影。皆様に喜んでいただけた。

クリスマス&忘年会(12/20)…クリスマスパーティーの後、おでんを提供した。

ラーメン外食の支援(12/17)…5月より毎日ウォーキングを続けて頑張っておられる方への個別支援。ご本人の「ラーメンを食べたい」という思いを実現した。

「今もそして最後の時もずっと自分らしく生きるための終活ノートの活用」講座
(パンフレットを配布し、中央包括支援センター様より講座をしていただく。)

行政 終活支援ノートとは、自分のこれまでとこれからを見つめなおすものであり、いざという時に自分や自分の大切な人が後悔せず納得した最後を送ることができるよう、前もって医療や介護やケアについて家族と話し合い共有することができるノートである。例えば医療の場面では、家族同士で話の食い違いが発生してしまうこと、また介護が必要になった場面では、本人の意向を聞くことが難しいことが多く、家族としても選択がそれで良いのか悩んでしまうといったことがある。

終活支援は決して暗いものではなく自分で決められない時に備え、自分の代理で決定してくれる人を決め、自分の想いや価値観を共有し、選択や心構えをより豊かにするものである。

まずは手に取り、好きなページから気軽に楽しんで書いていただきたい。

その他、意見交換

地域 非常に良いノートだと思う。今日参加しこのノートの存在を知ることができてよかった。どこでももらうことができるのか。

行政 市役所、社会福祉協議会で配布している。

地域 公民館でも包括の方に来ていただきノートの活用について研修を行っているが、認知度はまだ低い。

家族 ノートに遺言を残して印鑑を押せば遺言の代わりになるのか。以前正式な書類を作ったときはかなり高額だった。

行政 公的物ではないので効力はない。

家族 自分自身も高齢のため、いつどうなるかわからないからノートの活用を考えたい。施設としてはどういう意図があって講義をしていただいたのか。

敬愛苑 施設に入居後に利用者様の体調が変化した場合、看取り等の対応を都度ご家族と相談しながらすすめている。そのため、ご家族としても選択を迫られる場面がある。そうなった時にご本人の想いを確認することができない場合があるので、できるだけ入居前にご本人とご家族の意向を共有してもらえることが理想である。

終活ノートを参考に苑独自のものを作成中なので、今後ご家族に協力をしていただきたいと思いお願いをした。今後、苑での研修の参考にもさせていただきたい。

閉会

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	<input type="radio"/>